

平成23年度 京都府立丹波支援学校亀岡分校 学校経営計画 (計画段階・実践段階)

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度学校営の重点(短期経営目標)	
花ノ木医療福祉センターに入所している児童生徒を教育する学校であるという分校の性格及び特別支援教育の考え方を踏まえ 1 安全、安心の教育活動を推進する。 2 一人一人の教育的ニーズに応じた指導を推進する。 3 花ノ木医療福祉センター等関係する諸機関と円滑な連携を図る。		成果 1 新入生2名を迎え安心・安全の教育が推進できた。 2 児童生徒の実態を把握した目標設定と指導を進めることができた。 課題 1 個に応じた指導内容等の検証を更に進める。 2 保護者や花ノ木医療福祉センターとの連携を更に深める。		1 個別の指導計画に基づき、個に応じた指導を進める。 2 関係する諸機関と密接な連携をした教育的支援を進める。 3 健康と安全に留意した教育活動を進めると共に、いざという時に対応できるための危機管理体制の充実を図る。 4 専門性を高め、個に応じた授業改善を図る。	
評価領域	重点目標	具体的方策		評価	成果と課題
運営会議	組織・運営	1 公教育としての特別支援教育を推進する運営	・経営方針、教育目標、指導の重点等に基づく運営	B	・保護者及び花ノ木医療福祉センターと連携し、日々の取組を大切にしながら円滑な学校運営が推進できた。 ・外部の人材を生かす工夫を更に進める。
		2 花ノ木医療福祉センターとの円滑な連携と機能的な運営	・少人数規模の長所を生かした効率的、組織的な運営		
	学校評価	1 外部評価を推進	・外部評価の実施とHP公開等による学校運営への活用	B	
教務部	教育課程の編成	1 重度重複障害のある児童に個別指導の特性を活かした教育課程の編成と実施	・自立活動の指導の充実及び個別の指導計画による個に応じた指導の推進 ・重度重複障害のある児童の少人数集団という実態を踏まえた指導の充実	B	・リハビリ課にアドバイスを受けながら個に応じた自立活動に取り組みした。 ・二人の児童に楽しい雰囲気の中で、友達を意識させつつ個々の課題を設定して取り組んだ。 ・午後の個別授業は、児童二人に関連を持たせながら個に応じて取り組んだ。 ・地域と連携を深めることで、地域の小学校との交流が広がった。
	関係機関と連携	1 地域の小学校・花ノ木医療福祉センター及び本校との円滑な連携 2 保護者との緊密な連携による指導内容や方針の共通理解	・児童生徒の実態と連携の意義を踏まえた交流及び共同学習の実施 ・分校・保護者・センター相互の緊密な連携による共通理解と信頼関係の構築	B	
	研修部	1 分校の課題に応じた研修充実による専門性の向上 2 特別支援教育全般の理解を深める研修の充実	・校内研修会の計画・調整・運営 ・各種研究会への積極的な参加	B	
保健部	学習指導	1 花ノ木医療福祉センターと連携した個別の指導計画及び教育支援計画を活用した授業の充実と指導方法の工夫改善	・個別の指導計画・教育支援計画の作成、検討、実践	B	・センターや本校と連携し、障害・発達の学習や授業研等が行えた。 ・各種研究会に積極的に参加したが、更に参加体制の工夫を進める。 ・個別の指導計画や教育支援計画を活用した授業や指導の改善を図ってきたが、更にセンターとの連携を進めていきたい。
	保健安全教育	1 安全・安心な教育活動を推進する日常的管理と整備	・日常の学習環境の整備及び救急訓練等の実施	B	
		健康管理	1 医療的ケアの実施 2 健康と安全に留意した指導の推進	・医療的ケア手順に基づいた適切で安全な医療的ケアの実施 ・日々の健康観察の実態と児童生徒の体調に合わせた指導の推進	
次年度への改善の方向性	・保護者及び児童の教育的ニーズに応じた支援教育活動ができるよう教育課程を工夫・改善する。 ・自立活動の指導の中身がぶれないように位置づけを確認しながら取組を充実させていく。 ・アセスメント(評価)票を利用する等、指導と評価の一体化を図り、研究実践を要に授業を充実させる。 ・花ノ木医療福祉センターの人材等の活用を図り、亀岡分校の特色を生かした特別支援教育を充実させる。 ・交流及び共同学習を充実させると共に、地域との連携を深める中で特別支援教育の一層の理解を図る。				